

## 公表 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ぶらすこ				公表日 2025年12月吉日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		定められたスペースを確保しています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法律の定めた配置基準以上の職員数で支援に取り組んでいます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		玄関から支援室までは段差がないバリアフリーとなっております。手洗い場には段差がありますが、手すりをつけて安全に過ごせるよう対応しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃を行い、定期的に換気を行っております。療育スペースと遊びのスペースを分け、活動に合わせた時間が過ごせるようになっています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別部屋が3部屋あり、状況に応じた対応が取れるようになっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングの時間を設け、職員が振り返りを行い、個別支援計画に基づいた目標設定を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	保護者向け評価表を定期的に実施し、業務改善につなげています。	保護者向けの評価表の回収や活用が不十分な場合があり、意向の把握や業務改善の反映にばらつきがある為、今後は回収率の向上と内容の確実な反映が必要だと感じております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員全員参加の会議を実施し、業務改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現時点では実施できません。第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内にて動画による研修に参加、又は県主催の研修を受講し、資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPに公開しております。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		お子様に対してアセスメントを適切に行い、分析し、計画を立てております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援にかかる職員が共通理解の下子供の最善の利益を考慮した検討を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		放課後等デイサービス計画は職員間で共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		利用に際しての見学時に保護者面談を行いニーズを把握しています。外部で行った発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に生かしています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに即した支援内容を個別支援計画に表記しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児童発達支援管理責任者が中心となって保護者様のご意見や全職員の意見を踏まえた上で活動プログラムの立案、実施、振り返りを行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化しないよう工夫してプログラムを立案しています。	

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別支援計画に基づき課題を決め本人の状態に合わせた活動ができるよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	送迎や勤務時間の関係で、その日のうちに振り返りができないことがあります、翌朝に確認を行うなど工夫して情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の気になることを中心にサービス提供記録に残し対応等の話し合いに利用しています。日々、ヒヤリハットをお互いに意見し、支援の検証につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		年2回モニタリングを実施し計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		お子様一人ひとりのニーズに応じて複数の活動を組み合わせて実施しております。例えば創作活動+運動機能向上活動では指先を使った工作活動と、工作後に出来上がった作品(手作りボールや紙飛行機など)を用いて身体を動かす遊びを行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		お子様が自己決定できる場面を設け、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		家族や相談支援事業所も含めた個別性のある担当者会議を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		ご家族を通し、情報共有を行っています。また、下校時の申し送りを詳細にし、継続性のある支援をしています。担当者会議に学校の先生も交え互換性のある支援を目指しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	各関係機関を通し情報共有を行い、児童の状況把握や支援方針の統一に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		現時点では、該当するお子様はいませんが、必要に応じて情報提供を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスープーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		積極的に研修に参加し、全職員の資質向上に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		6		保護者アンケートのご意見等を踏まえ、必要性も含めて今後検討してまいります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		6		地域の自立支援協議会で児童の部の参加ができるよう連携を強化しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		定期的なモニタリングや毎日のお迎えの時間を活用し情報共有を行っています。また、事業所内相談を適宜行い不安や困りごとを共有させていただいております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	保護者から相談を受けた場合は丁寧に対応しております。	個別に相談に応じることはありますが、ペアレントトレーニングとして保護者様には開催しておりません。今後の課題として検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約提携時、内容に変更が生じた時など丁寧に説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		作成時にはお子様やご家族のご意向を確認させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援内容の説明を行い同意を頂いております。	

保護者への説明等	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて事業所内相談を行っております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		各家庭の事情を考慮して保護者会の活動は行っておりません。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合には迅速、適切に対応してまいります。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	HPやSNSで発信しております。ぜひご覧下さい。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されている書類等は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、職員に対してコンプライアンス研修を行い、重要性を再認識しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		特性やその時の状況に合わせ、分かりやすい言葉や視覚的に伝えるようにしています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		地域の方を招待することはできていませんが、今後の検討事項と考えています。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	事業所全体で委員会を立ち上げマニュアルを作成しています。避難訓練を定期的に行っています。月間プログラムに防災訓練の練習を盛り込み、子供たちに対しての訓練も行っています。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練を行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者記入の健康状況票等により服薬や発作、アレルギーの有無を確認しています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	医師の指示書は未取得ですが、保護者の情報を基に除去対応を行い、誤飲防止の為職員で共有、確認を徹底しています。	今後、医師の指示書を取得し、緊急時の対応や職員間での統一を図ってまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理がされた中での支援を行っています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		今後、安全計画に基づいた防災訓練や緊急時対応訓練に家族も参加してもらうことで、計画内容を体感的に理解してもらう工夫を行っていきます。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		現在は、身体拘束に該当するケースはありませんが、虐待防止委員会を立ち上げ、職員の研修機会を設けています。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	身体拘束が必要とされる児童について個別に保護者へ説明し、同意書を得た上で個別支援計画に記載し対応しています。	